

1999

1 月号

JANUARY
No. 341

花と緑と水のまち



広報

みまた

晴れ姿

1月5日に開かれた成人式会場にて

祝 三股町成人式



いきいきさん (29)

趣味を通して、
生きがいづくり

たか だ まさ ひで
高 田 優 秀 さん



「とにかく昔から手先を動かしたり、物を作ることが好きでした」と笑顔で話すのは、仲町にお住まいの高田優秀さん(74)です。そんな、高田さんは、幼いころから絵画や歌が得意で、将来は、歌い手が踊り手、あるいは画家を目指していたといえます。「当時は、時代が時代だっただけに、芸術の道に進むことを両親や周りの人は理解してくれず、仕方なく別の道に進みました。今の時代に生まれていたら、そんなことはなかったのですが……」。

「好きなことをいつかは、思い存分やりたい。その思いは、教職を退職した昭和55年から本格的に始動しました。「切り絵、折り紙、日本舞踊、社交ダンス、和裁、編み物、生け花、水墨画と数々の講座を通信教育で受講しました。セーターやベスト、和服、ワイシャツなど着用する衣服のほとんどは、自分の手で製作したものです」。

「現在は、それらの趣味をいかして、特別養護老人ホーム「三光苑」の入苑者の機能回復のために、絵画教室を開き、毎月3回、指導に出かけます。また、毎月1回、地域の老人クラブのサークル「すみれ部会」で、歌や踊り、切り絵、折り紙の指導を行っています。その他、デイサービスセンターなどへの施設を定期的に訪問したり、高齢者に踊りを披露し、多くの方々に喜ばれています。踊りに掛ける情熱は、かなりのもので、自宅には、6畳ほどの舞台が設けられ、音響設備、屏風、大鏡など、踊りに必要な資材や機材は一通り備えてあります。使用する槍や刀、大盃、カッパなどの小道具は、廃材やダンボール、毛糸などを利用して自作作品です。「舞台は、趣味が高じて、家を新築する際に設けたものです。時々、近所の方や知り合いを呼んで、発表会を開いて楽しんでいきます」。

三股町の人口
平成10年12月1日現在

男	11,321人	出生	19人
女	12,625人	死亡	19人
計	23,946人	転入	78人
前月比	0人	転出	78人
世帯数	8,579戸 (+11戸)		

茶じよけ

新年明けましておめでとうございます。皆様にとりまして今年が輝かしい年であることを心よりお祈り申し上げます。さて、今月号の特集記事「新春対談 三股町のこれからを語る」に出席してくれた3名の新成人者は、しっかりと考えたを持っていた。それは、淡々と述べる意見や質問内容から判断できた。昔からよく「今の若者は昔の若者と比べて……」だ」と、いつの時代も若者はさげすんだ見方をされるが、そんなことをみじんも感じさせなかった。それは、自分の夢に向かって、しっかりと歩いている強い精神の持ち主だからであろう。これからの3名の活躍を期待したい。▼新年早々、ちよっと嫌な話をしたいと思えます。役場正門前の街路に設置していた「バンジー(花)を植えたプランター」のうち、7箱が昨年の12月初めに盗まれた。おそらく自動車を使って運んだと推測される。いったい、だれが何のために盗んだのか分らないが、実に残念でならない。「花を愛する人に悪い人はいない」。その言葉を信じて、良識があるならば、元の場所に返していただきたい。M・Y



間もなく終わりを告げようとしている20世紀。
町の未来はこれからどうなるのか――。
躍動する時代の中で、町の行方を
模索するように、役場の一室で対談は行われた。

三股町のこれからを語る

21世紀に向けてのカウントダウン。

未来をどうとらえるか、

今、そのトピラが開かれた。

会場には、町長、議長、そして新成人の3名。

話題は、身近なことから未来構想まで、

様々な答えが得られ、未来の三股町が

白いキャンバスに描かれていった。

三股町の現状と将来についての うな考えをお持ちでしょうか？

町長 三股町は、昭和40年代半ばから人口は増加の一途をたどり、ここ数年では、年間約四百人ほど増えております。この伸び率は、県下44市町村の中で清武町に次いで第2位です。このような背景から、本町は、居住地として大変適しているものと認識いたしております。昨年の五月、本町は、町制施行五十周年という大きな節目を迎え、百周年に向けての大きな第一歩を踏み出しました。将来を展望しますと、本町は平成5年に国から指定を受けた『都城地方拠点都市』の『居住地区』に設定されており、今後ますます人口は増加するものと予想されます。そうしたことを踏まえ、活力に満ちた住みよい町づくりのために、様々な施策を講じていかなくてはなりません。レジデンスパーク整備計画に示してありますように、図書館、多目的ホール、総合福祉会館、総合体育館、近隣公園などの文化教育施設等は、財政状況を見ながら、年次的に建設する方針です。一方、町の東部の長田・梶山地区は、過疎化が進んでおりますが、自然をいかした地域づくりを進めたいと考えておりま

す。例えば、長田地区の四つの陶芸の窯元を通して「陶芸の里」づくりを計画いたしているとあります。それらと町内各地に点在する観光名所を結びつけた開発を行いたいと思っております。また、地方分権については、様々な課題はありますが、「盆地は一つ」を柱に、都城北諸の1市5町、さらには都城圏域の財部町、末吉町とも連携を深め、大きな支出を要するものについては、広域連合・広域行政の中で考えていきたいと思っております。

議長 三股町において、人口が増えているのは、都市から本町への道路網が張り巡らされているなど、立地条件のよさが挙げられます。その反面、転入される方の大半は、都城寄りに住宅を建設し、下水道や公園

などの整備が立ち遅れています。また、学校においてもマンモス化し、様々な問題が指摘されております。このような問題の解決が、急がれるところですよ。

白井 三股町は、住みやすくよい町だと思えます。自然もたくさんあり、ゆとりを感じさせてくれる町だからです。その一方で、駅前を含めた商店街は、人通りが少なく寂しく感じます。商店街の開発が必要ではないでしょうか。

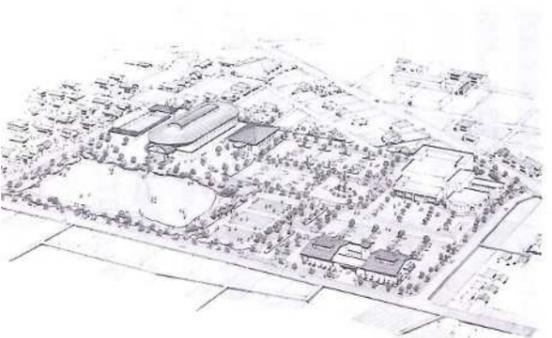
壽山 若い人の遊ぶ施設が少ないと思えます。少し飛躍的な考えかもしれませんが、近隣にあつたら、若い人も楽しいだろうと思えます。

釘元 私は、梶山に住んでいます。小さいころは、よく山や川などで遊んでいました。しかし、今の子どもたちは、家に閉じこもりがちで、外で遊ぶ姿をあまり見掛けません。そこで、子どもたちが郊外で楽しく遊べるような施設を設けてほしいと思えます。商店街については、若い人がいつでも楽しくショッピングできるような通りを築いてほしいですね。

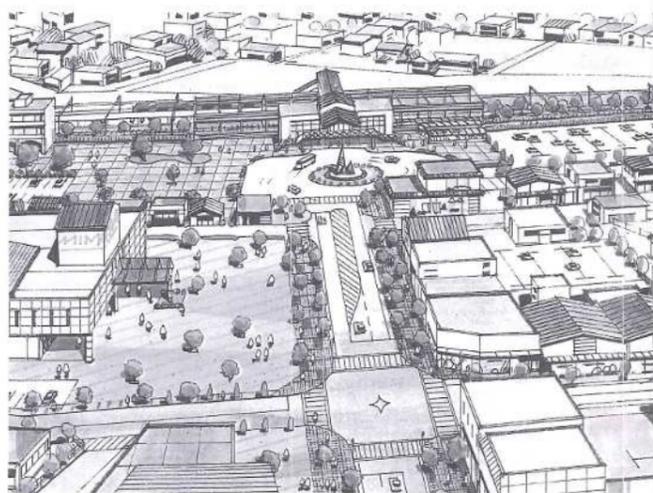
町長 現在、本町には、児童遊園施設等の数は、確かに人口規模から見

ますと少ないのは事実であります。しかし、あまり利用されていないのも現状です。そのような状況を踏まえ、たうえで、施設の建設については検討していきたいと思えます。また、商店街が伸展しないという指摘がありますが、このことは、歴史的な背景のうえからも周知の事実であります。商店街の中心部は、昭和50年代まで、山王原・仲町にありましたが、時代の変遷とともに西へ西へと移り、現在では、都市に隣接する地域に至っているのが現状です。また、顧客の多くは都市に流出していることから、町内の購買力を向上させる意味においても、駅前を含めた商店街の開発は必要だと考えます。

議長 都城盆地圏域のグランドデザインをどのようにするのが一番大きな鍵です。つまり、1市7町の自治体間において、三股町はどんな役割を受け持つのかを決めることです。盆地内に同じ施設を2つ以上建設しても、税金のむだ遣いです。自動車を利用すれば、盆地間は短時間で行き来できます。できるだけ無駄を省くことが大切だと思います。商店街の開発ですが、隣接する市町と同じような開発をしてもだめです



レジデンスパークイメージ図



三股駅前周辺整備のイメージ図

ね。どうしても大きな市に吸引され、失敗に終わります。そこで、三股の駅前を『東京の原宿』にしたかどうかでしょうか。『盆地の中の原宿』、魅力を感じるでしょう。そして駅前から体育館まで、いちよう並木を作って、その間に喫茶店やジープンシヨップなど若者が集まる店が存在するといった、ターゲットを絞った開発が望まれます。公園に関しては、遊具施設のない広大な広場でもいいのではないかと思います。つまり、イメージを大きく膨らまして町づくりが大切です。その中で、若い人が大いにアイデアを出してくれたらよいですね。



三股町長 桑畑 和男(67)



三股町議会議長 桑畑 浩三(56)

釘元 駅前が原宿のようだったらすばらしいですね。若い人もたくさん集まるといいですね。
町長 若い人が集まると、活気が満ちてきます。つまり、町づくりに弾みがつきます。町といたしましては、駅前から体育館、レジデンスパークに至る地域の整備は、町の新しい拠点になると考えます。
近年、国内においては、少年の凶悪犯罪や事件が多発し、大きな社会問題をなすためには、どうしたらよいと思いますか？
白井 単純な発想ですが、文化的なものに触れ合える機会を多く作って

やることも解決策の一つと考えます。ゆとりを感じられる生活が大切だと思います。
釘元 「勉強しなさい」などと、親の一方的な押しつけが、子どもにとっては大きなストレスや悩みとなつて、そのはけ口がない場合に非行に走ることもあるのではないのでしょうか。小学校や中学校に、相談室を作ってカウンセリングしてもらえるといいですね。
町長 現在、町においては、三股西小学校にカウンセラーを1名おいて、様々な相談に応じております。ピーアール不足を感じますので、機会を設けてお知らせしなければなりませんね。ストレスのたまつた子どもたちが、心を開いて何でも相談できるといった場所や施設はとても大切だと思います。

しながら、ご期待に沿うようにしたいと思っています。
これからは、ますます少子化や高齢化が進み、大きな問題となつてまいります。その対策についてどのような意見をお持ちでしょうか？
白井 西暦2025年には、2人の働き手で1人の高齢者を支える予想されていますが、そのような状況を考えると、家庭だけの問題としてとらえるのは難しいと思います。地域ぐるみで支えることが大切ではないでしょうか。例えば、若い人たちが高齢者宅を訪問して、面倒を見るということなどです。つまり、共存するという意識付けが必要だと思います。少子化問題については、今の

三股町の

これからを語る



白井 昇太(20)(東原) 国立都城工業高等専門学校生



三股町 白井 千尋(20)(稗田) 調剤薬局事務員



釘元 聡子(20)(梶山) 専門学校生

教育はお金が掛かるということも挙げられると思います。そこで、国において教育費の補助などを検討していただきたいですね。
壽山 お年寄りが安心して老後を送れる施設が多く建設されることも必要だと思います。少子化問題については、先ほどの意見と同感です。教育に掛かるお金が高いというのが一番大きいのではないのでしょうか。その対策を考えてほしいですね。

ないといった現実的なこともあると思います。育児休暇を含めた対策の充実も大切なことだと思います。
議長 私たちが若いころは、「親の面倒は最後まで子どもが見る」というのが世間一般の通念でした。それには異論があるかもしれませんが、時代は変わっても大切なことです。そこから考えますと、高齢社会の問題はある程度解決できると思います。また、ボランティアで高齢者を支えるという地域ぐるみの活動は必要でしょう。そして、施設の充実も大切なことです。その3点がバランスよく保てれば、高齢社会の問題解決につながるかと認識しております。

います。少子化対策ではありますが、このことは高齢化対策にも関連するものであります。現在、国内においては、女性1人が生涯に産む子どもの数は1・39人です。ある資料によりますと、2・2人以上ないと国の人口は維持できないということですので、国においては、高齢化対策に焦点が絞られているようですが、少子化対策にもっと力を注ぐべきだと考えます。そういった状況を踏まえ、町においても少子化対策の施策を早急に打ち出さなくてはならないところであります。

いきなりたいですね。
釘元 今勉強している福祉のことについてさらに勉強して、社会福祉士の資格を取得したいと思っています。そして、三股町の福祉の向上にかすことができればいいと思います。
議長 21世紀は、皆さんの時代です。しっかりとした意識を持って頑張ってください。
町長 これからも、更に研鑽していただき、夢を実現してください。できれば、三股町に住んで、三股町を背負うりっぱな人になってくれることを期待します。本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

釘元 日本は、世界でも類を見ないくらい早いピッチで高齢化が進み、西暦2025年には、4人に1人は高齢者という世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えます。そのような状況から、平成12年度から公的介護保険制度がスタートするのですが、その内容は複雑で、理解するのも難しいものです。介護認定の基準にも疑問を感じます。幸い、三股町には、多くの介護施設があり、ある意味では充実していると思います。しかし、今後のことを考えますと、施設の規模や数の面で不安を感じます。将来的には、施設の充実を図ることが大切ではないでしょうか。少子化については、教育費の問題と働く女性が増えてきており、子どものことまで手が回ら

「自分の親は自分が見る」ということは、家庭的にいろいろな問題はあってもありませんが、とても大切なことだと思います。しかしながら、一方では施設の充実も必要なことです。ゆとりある老後生活を送っていたために、真剣に考えていかななくてはならない大きな問題として受け止めています。公的介護保険については、様々な問題があり、ひとつの町だけでは解決できるものではありません。そこで、都城北諸の1市5町の広域行政で行なう必要があると思

や希望をお聞かせください。
白井 4月から琉球大学に転入します。そこで、2年間、コンピューターに関する専門的知識を身につけて、将来それをいかした職業に就きたいと考えています。
壽山 今までは、自分に甘いところがいっぱいあったと反省しています。これからは、自分の考えをしっかり持って、生きていきたいと思っています。また、病院に來られる患者さんに、忙しいときなど対応が悪いことがあります。その点を改善して、常に笑顔で接するよう心掛けて



大会のハイライト



勢いよくスタートした子どもたち



交通安全を呼び掛ける消防車によるパレード



第6区では激しい争いが繰り広げられた



あ〜あ 疲れた〜



優勝を果たした第5地区の最終ランナーがゴール



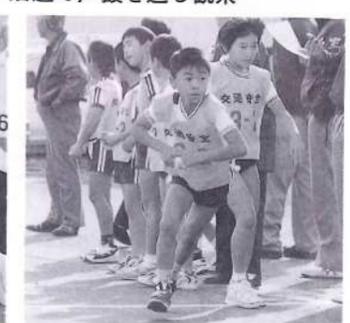
沿道で声援を送る観衆



第2スタートから一斉に走り出す中学生女子の選手



力強く選手宣誓をした磯口さん



よし俺に任せて!

第5地区が初の栄冠

第7回 交通安全駅伝競走大会



初優勝した第5地区の選手・役員の方

第7回交通安全駅伝競走大会(町、交通安全協会三股支部、町体育協会主催)は、12月6日、役場正門前をスタート・ゴールとする24区間、約30キロのコースで行なわれました。大会は、町民の交通安全に対する意識を高

め、交通事故・違反のない明るく住みよい町づくりを進めようと、自治公民館連絡協議会の協力を得て平成4年度から開いているものです。今回の大会には、各地区の代表8チーム、192名の選手が出場しました。

開会式では、9地区チームの磯口まどかさん(三股西小学校6年)が力強く選手宣誓。午前9時50分、町消防団の消防車両による交通安全パレードが発進した後、午前10時、ピストルの合図で、第1走者がスタートし、交通安全の文字の入ったゼッケンを着用した小学低学年から高学年、中学生、青年、壮年の選手へとリレー形式で次々にタスキを受け継ぎました。

大会は、町内をほぼ1周するコースで争われ、中継所や沿道には大勢の人が詰めかけ、「ガンバレー!」「あと少し!」と大きな声援が飛び交い、至るところでデッド・ヒートが繰り広げられました。

結果は、第5地区チームが他を圧倒し、初の栄冠を手に入れました。また、昨年の記録を大きく上回ったチームに贈られる「躍進賞」は、4分12秒縮めた第8地区チームが獲得。あらかじめ申告したゴール予想タイムに実測タイムが近い方から順位が付く、「申告タイムの部」では、実走とわずか56秒の誤差で、第7地区チームが1位を獲得しました。

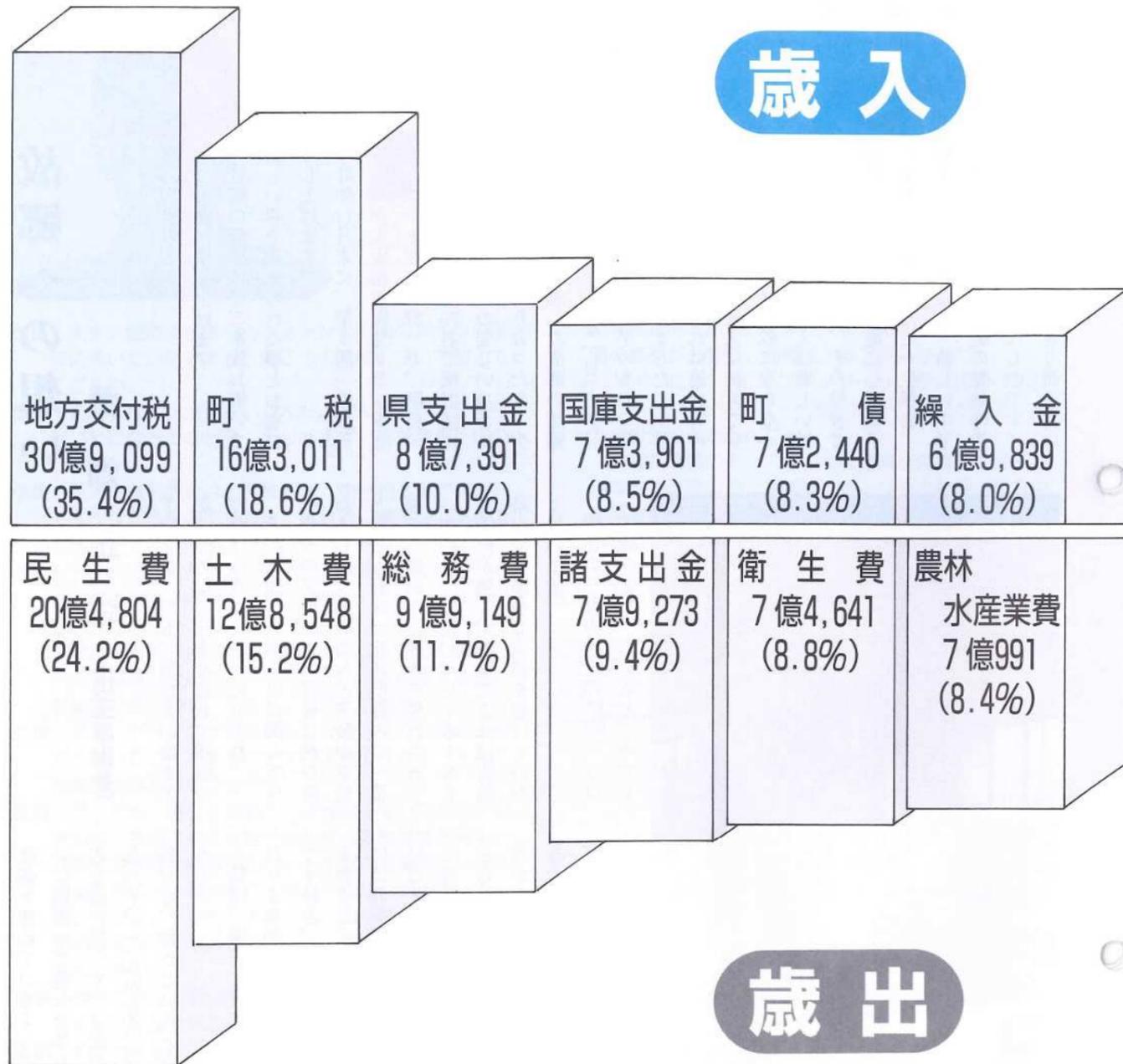
駅伝の成績

大会順位
優勝 第5地区(1時間45分02秒)
第2位 第6地区(1時間47分41秒)
第3位 第9地区(1時間48分26秒)
申告タイム順位
(-)は、申告とゴールのタイム差

優勝 第7地区(56秒)

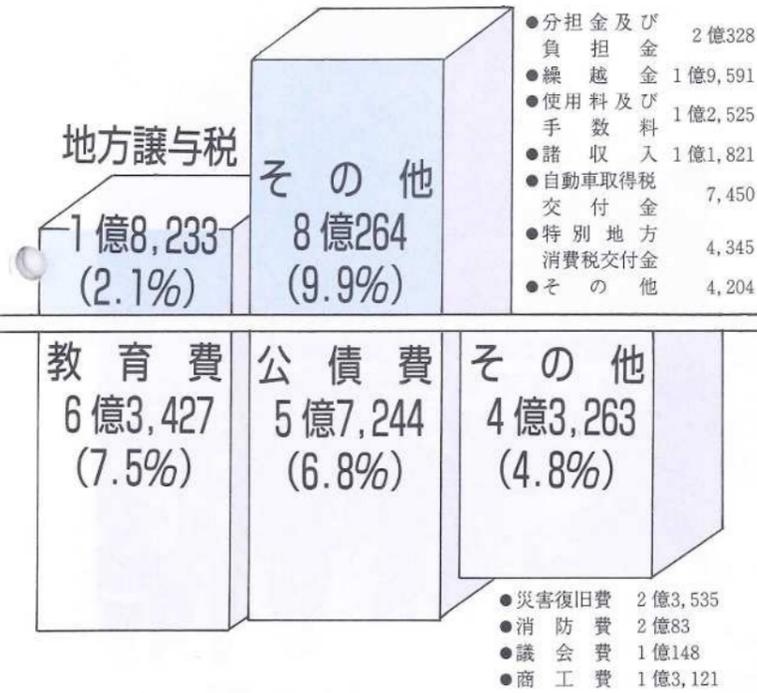
第2位 第6地区(1分6秒)
第3位 第9地区(1分12秒)
区間賞 (敬称略)
[1区] 800m 小学低学年女子 岩崎 亜季 (3分17秒)
[2区] 800m 小学低学年男子 中村 誠 (3分35秒)
[3区] 800m 小学低学年女子 西村 桜 (2分55秒)
[4区] 800m 小学低学年男子 児島 成人 (2分42秒)
[5区] 1km 小学高学年女子 上石 結花 (3分48秒)
[6区] 1km 小学高学年男子 住 朋樹 (3分32秒)
[7区] 1km 小学高学年女子 栗崎 優香 (3分23秒)
[8区] 1km 小学高学年男子 松尾 智史 (3分29秒)
[9区] 2.5km 中学男子 山元 博之 (7分52秒)

[10区] 2.5km 中学男子 上池 真琴 (8分35秒)
[11区] 1.5km 中学女子 武石 円 (4分38秒)
[12区] 1.5km 中学女子 野崎小百合 (4分49秒)
[13区] 1.5km フリー男子 白尾 和幸 (4分11秒)
[14区] 1.5km フリー女子 黒木 千草 (4分51秒)
[15区] 2.5km 29歳以下男子 下石 孝太 (7分36秒)
[16区] 1km 29歳以下女子 福重かおり (3分44秒)
[17区] 2km 30歳代男子 加井可奈子 (3分44秒)
[17区] 2km 30歳代男子 和気 進 (6分33秒)
[18区] 800m 30歳代女子 恒松 芳子 (3分13秒)
[19区] 1km 40歳代男子 中山 辰美 (3分1秒)
[20区] 1.5km フリー男子 藤本 敏広 (4分25秒)
[21区] 500m 40歳代女子 下石ゆみ子 (2分21秒)
[22区] 1km 消防団員 永吉由貴夫 (3分19秒)
[23区] 500m 協会役員 竹元 仁伍 (1分33秒)
[24区] 150m 自治公民館役員 善家 孝智 (29秒)



歳入総額
87億4,178万円

単位：万円



歳出総額
84億4,964万円

平成9年度一般会計 歳入・歳出決算

平成10年12月、議会定例会で認定。
これをもって、町条例「財政事情の公表」にかえます。

平成9年度一般会計歳入歳出決算の状況を次のようにお知らせします。

平成9年度三股町一般会計決算は、歳入総額87億4,178万円（対前年比5.7%減）、歳出総額84億4,964万円（対前年比6.9%減）、歳入歳出差引き2億9,213万円となっています。構成内容を見ると、歳入では町税を柱とする自主財源は34.2%と財政基盤は弱く、依存財源が65.8%と高い比率を示しています。一方、歳出の経費別内訳では、義務的経費が36.8%、投資的経費26.5%、經常的経費およびその他の経費36.7%の割合となっています。

平成9年度の主な建設事業

(単位：万円)

上米公園整備事業	2億1,665
辺地事業(森木・牧野線)	1億9,022
リサイクルセンター建設事業	1億1,245
三股駅小鷲巣線道路改良事業	1億677
環境基本計画推進事業(周辺環境整備事業)	1億509
レジデンスパーク道路整備事業	8,472
温泉井掘削工事	8,419
辺地事業(梶山・森木1号線)	8,257
植木公園整備事業	7,690
公益保全林整備事業特別対策事業	4,539

特別会計決算

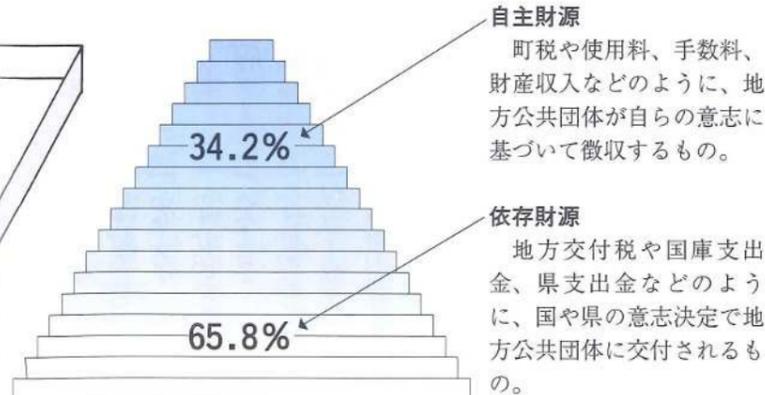
国民健康保険特別会計	歳入 19億9,123万円 歳出 17億7,110万円
老人保健特別会計	歳入 23億1,696万円 歳出 22億5,867万円
梶山地区農業集落排水事業特別会計	歳入 3,052万円 歳出 3,043万円
宮村南部農業集落排水事業特別会計	歳入 1億4,959万円 歳出 1億4,945万円

歳出の経費別内訳

単位：万円
(統計分析による)



歳入の自主財源・依存財源の内訳





ハ〜イ! カステンブラウンです

ドイツと日本の教育制度の違い

生徒：先生、国際交流員のカステンの母国のドイツの学校に通いたいのですが、向こうの学校について教えてください。

教師：ええっ!? 突然何をいうんだ。そんなに日本の学校がいやになったのか? とりあえず、何を聞きたいのかなあ。

生徒：日本の義務教育は小学校6年、中学校3年ですが、ドイツはどのようなのですか? それと入学試験はあるのですか?

教師：ドイツの義務教育は、基本的に基礎学校4年で、その上に6年、あるいは5年の制度をとっているんだよ。

また、日本のように中・高・大学に入るための厳しい入学試験はないね。どちらかという卒業するための試験が厳しいね。つまり、日本とは逆だ。

生徒：先生、ドイツの学校は州立とか自治体立がほとんどだと聞いたことがあるのですが本当ですか? それと授業料は有料なのですか?

教師：そうだね、国立とか私立の学校は少ないですね。授業料は、各州にある9年から10年(義務教育期間中)通う公立学校は無料なんだ。ドイツの首都ベルリンの中央政府の力は弱いから、独立した16の州の違いが大きいんだよ。大学も、4校ぐらいの私立を除くと、授業料は無料ですね。ランキングもあまりなく、貧乏な学校が多いんだ。

生徒：無料だから、悪い学校もあるのではないのですか? また、学生生活にはどんな問題があるのですか?

教師：もちろん悪い学校もたくさんあると思うね。例外中の例外だけど、大都市のある学校では、家から持ってきたナイフなどの武器を使った犯罪がありましたね。学生生活の問題といえば、学校に通いたくない学生が多いということでしょうか。余談だけど、日本とは違って塾は少ないんだ。

生徒：ええっ! 頭が悪い生徒はどうするのですか? みんな、スーパーで働いているのですか?

教師：もし、保護者も学生も学校があまり好きではなかったら、隣の州や欧州連合の国々にある学校や私立の学校に通えるんだよ。目的は、人間の個人能力の違いを守るために、義務教育が終わった後、自分の道を選ぶようになってるんだ。専門学校もあるし、身体や言語に障害のある人の通う学校もたくさんあるんだ。

生徒：西部と東部の教育は同じなのですか? また、私立学校にはどんなものがあるのですか?

教師：西部と東部では若干違うね。例えば、新しい制度では、最初の6年間が終わってからオリエンテーション

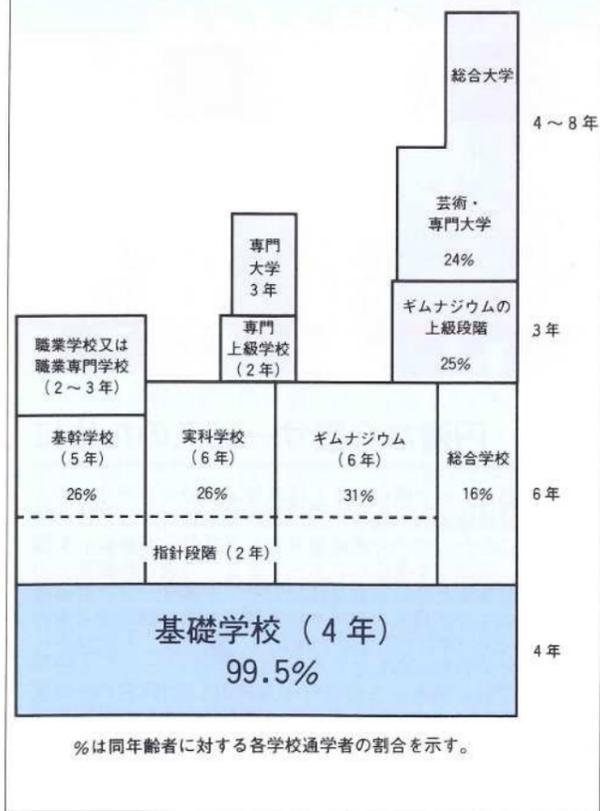
の学校があるんだ。大学に入るために、東部では12年間の修業が必要で、西部は1年プラスなんだ。

ドイツには、M.モンテッソーリ(伊、1870-1952、女)やR.シュタイナー(独、1861-1925)が設立した私立の施設もあるんだよ。

国際交流員のカステン君は古典を勉強しすぎて、小学の4年間の後、9年間、カトリック教会の私立中高等学校に通っていたらしいね。この古い戦前みたいな学校(ギムナジウム)は今の日本の学校によく似ていると思うね。

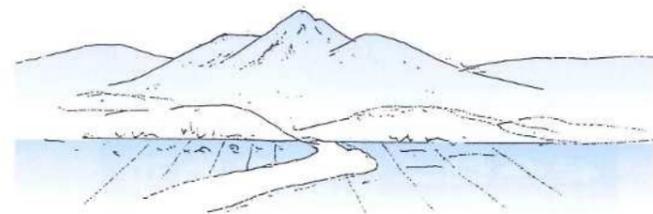
生徒：そうなのかなあ。少し考えてからドイツに行くのを決めよーと。

ドイツの教育制度 複線型学校制度



(原書: 独逸連邦共和国政府: ドイツランド3.6/1995)

ふるさとへの便り



故郷への想い

桑畑正年 (山王原出身)

謹んで新春を

お慶び申し上げます

故郷の皆様にはご家族お揃いで新しい年を迎えられた事とお喜び申し上げます。

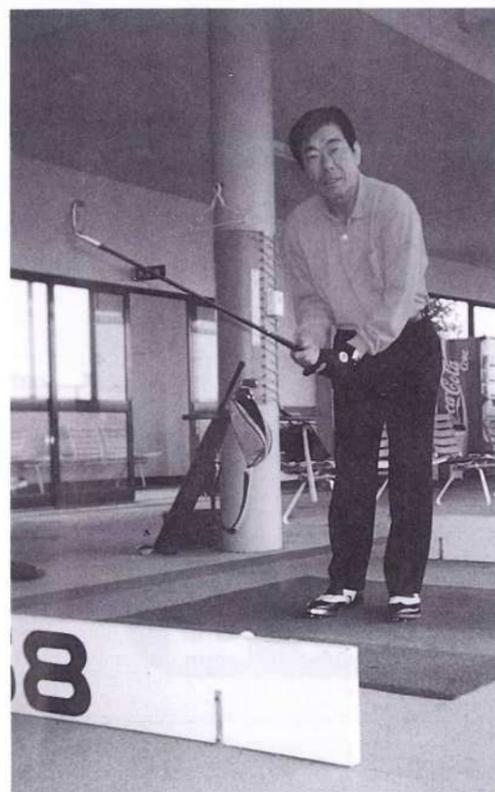
昨年11月末に、第3回「近畿三股会」が大坂梅田阪急グランドビル「ニーナクラブ27」で、町長・議長を囲み、総勢70名で懐旧談に花を咲かせながらの楽しいひと時でした。近況を語り合ったり、少年・少女時代を過ごした故郷の話等で、大変にぎやかな一日でした。

私も三股を離れて早いもので四十六年の歳月が過ぎました。中学生時代の思い出、それは遠い昔の事で、あのころと言えども何もない時代で、現在とは比較にならないありさまでした。思えば新しい校舎が新築されたのに、その校舎では我々は一度も机を前にして椅子に座ることなく、ただ一生懸命、後輩たちのためにと、新しい中学校舎の新築に伴う校庭の整地作業に明け暮れ、頑張ったものです。今でも脳裏に、はつきり焼き付い

ています。でも、新校舎が出来上がった時は、汗水を流して頑張っただけにうれしかったですね。

その反面、スポーツに関しては小学校のグランドで存分に飛び跳ねました。あのころの三股中学校と言えば野球は北諸郡内で一番強く、他の中学校から恐れられていました。また、バレーボールも女子部が強く、記憶によれば宮崎県内でも優秀な成績を挙げていると思います。

現在の三股中学校のスポーツは「広報みまた」を見ると、今でも



隆盛を極めているようですが、大いに頑張って健全な体を養い、雄志を胸に抱いて、立派な社会人となって、これからの三股町を背負って、輝かしい人となってください。

私は、現在大阪の堺市に住んでおりますが、宮崎ほど暖くはないですけど、冬は雪も少なく環境にも恵まれています。近隣の府・県には名所旧跡も数多く、少し足を延ばすと京都・奈良が手の届く所にあります。南へ行くと海水浴で知られる南紀白浜や那智勝浦温泉等があり、大阪は東にも西にも動きやすい所で、旅行するには一番好都合なよい場所です。

この度の「近畿三股会」で町長

の言葉にありましたが、「三股は今ベッドタウンとして人口も年々増えてきて、生活環境の整備も着実に進み、これからは下水道の問題と高齢社会に伴う介護問題等が蓄積しているため、未来都市に向けて三股町の皆様のために全力を傾け、一生懸命頑張って町長としての責務を果たしたい」と言う力強いお言葉でした。

私も三股小学校の同窓会に顔を出していますが、これからは三股に帰る楽しみが一段と増えるような気がします。大いに期待しています。

これからの三股町のますますのご発展と皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

最後になりましたが「近畿三股会」を率先してこの企画を盛り上げて実施していただいている有志の方々の御苦労に対し心から感謝いたします。本当に有難うございます。



児童と高齢者の温かいふれあい

長田小学校（森辰己校長 児童48名）は、11月27日、同小体育館で、長田老人クラブの25名とふれあい活動を行ないました。
 地域の高齢者と一緒に遊んだり、給食を取りながら、結びつきを深め、児童のお年寄りを思いやる優しい気持ちを育てるものです。
 活動の中で、高齢者は、幼いころ親しんだお手玉、たこ、紙鉄砲、めんこ、折り紙の遊びを紹介しながら、実際に製作し、児童らはその説明に真剣に聞き入っていました。6年生の児童は、竹とんぼ作りに挑戦。ほとんどが初めてとあって、ごちない手つきで小刀を扱っていました。
 森校長は、「自然のものを使って創作することは大切なことです。今後もこうした地域の高齢者とのふれあい活動を行なっていきたい」と話されました。

的に向けて精神集中

元気な宮崎ねりんピック'98は、12月5日から6日にかけて都城市、北諸、西諸の3市8町を会場に盛大に開かれました。平成8年に開催された『全国健康福祉祭「ねりんピック'96宮崎大会』の成果を受け継ぎ、高齢者の生きがいづくりと健康づくりを進めようと、平成9年から開催しているものです。
 本町は、四半的会場に選ばれ、12月5日、町武道体育館には、県北の高千穂町から県南の串間市まで71チーム、353名が詰め掛け、個人の部、団体の部で競技が行われました。
 参加した選手は、一瞬の気のゆるみが勝敗につながるため、弓を引く指先に全神経を集中していました。



三股中女子バレーボール部

県中学秋季大会で二つの栄冠

11月上旬に開かれた県中学校秋季体育大会に北諸県郡の代表として出場した三股中学校女子バレーボール部（顧問 守田和彦 部員22名）と同校剣道部女子（顧問 猪倉正美 部員7名）は、並み居る強豪を抑えて初優勝を果たしました。

女子バレーボール部は、初戦から決勝まですべて2セットを連取して快勝。守田教諭は、「長年の夢であった県大会で優勝を果たせたことは、部員にとって大きな喜びです。県大会の優勝を機に、更に練習に励み、上の大会を目指したい」と話されました。

また剣道部女子（団体戦）は、平成9年の同じ大会と前の夏の大会で準優勝に終わったことから、その雪辱に燃えた戦いでした。決勝戦では、県内屈指の高千穂中学校と対戦。日ごろの練習の成果を思う存分発揮でき、3対1で勝利しました。その瞬間、部員の間からは大粒の涙とともに大きな歓声が起こりました。猪倉教諭は、「県一位を掲げて部員一丸となって厳しい練習に励んだ結果です。この優勝に慢心することなく、更に精進し、次の新しい目標に向かって邁進したい」と話されました。



三股中剣道部女子



日ごろの練習成果を競う

第22回三股町剣道練成大会は、11月23日、町武道体育館で盛大に開かれました。
 同大会は、権威ある大会として広く県内に知られており、都城、北諸県郡内をはじめ、西都市や小林市などからも参加し、合計141チーム、703名の剣士がしのぎを削りました。
 成績は次のとおり（優勝のみ）
 小学校男子（低学年）：串間青武館
 小学校（高学年）：木脇少年剣
 小学校女子：乙房小剣友クラブ
 中学校男子：三股中A 中学校女子：玄武館
 高校・一般女子（個人戦）：堀内美樹
 高校男子：都城東高校D 一般：都城市役所

日ごろの成果が高く評価

都城東高等学校（二見厚雄校長 生徒982名）は、日本赤十字の最高の栄誉とされる金色有功賞に選ばれ、11月26日、宮崎市のJ・A・ZMホールで開かれた「青少年赤十字宮崎県大会」で表彰されました。
 同校は、年間を通して生徒による献血協力や福祉施設の慰問による清掃作業などの奉仕活動、さらに近年は、救急法の講習を取り入れるなど、その成果が高く評価されたものです。
 二見校長は、「長年にわたる地道なボランティア活動が多くの人に理解され、このような名誉ある賞を受賞できました。これからもこの伝統を守り、地域に貢献する学校を築き上げたい」と感想を述べました。



125年の歴史を回顧

梶山小学校創立125周年記念式典（鈴木誠実行委員長）は、11月29日、同校体育館で、全校児童55名に、PTA、地域住民ら約150名が出席して盛大に開かれました。
 式の中で鈴木委員長は、「一時は三百数十名いた児童数は減少の一途をたどり、深刻な問題となつてまいりました。地域の活性化とともに歴史と誇りのある小学校を地域一体となつてもり立てていきたい」と挨拶しました。
 式典の後に開かれたアトラクションでは、25年後の同窓会や50年後の学校を予想した創作劇を児童が披露し、詰めかけた観衆から大きな拍手が送られました。
 また、校庭の一面には記念碑が設けられ、序幕式も行われました。記念碑には、約10センチ四方の陶板（児童がそれぞれに絵を描いた陶器）がはめこんであり、出席者の注目を集めていました。

円滑な介護サービスのために

北諸県郡の5町で構成する北諸県地域高齢者介護サービス体制整備推進協議会（会長 三股町長 桑畑和男）は、このほど4日間にわたって「介護保険モデル事業認定審査会」を開きました。平成12年度からスタートする「介護保険制度」の中で、最も重要とされる要介護認定や、介護サービス計画の作成についての実務上の課題や対応策等を調査研究するもので、それぞれの町の担当者や調査員、審査員、ケアマネジャーなど50名が出席しました。
 審査会では、あらかじめ各町から抽出した104名の一時判定結果と掛かり付け医師の意見書、調査員が書いた特記事項の3点で二次判定し、介護サービス計画書を作成しました。
 会議では、介護認定の方法やサービス計画の内容について、終始真剣な論議が交わされました。



新成人に贈るメッセージ'99



平尾 誠二

(ラグビー日本代表監督)

弱さを克服しようとする 行動力や姿勢こそが 本当の強さ

「弱さこそ強さの源」
ラグビーは集中力のスポーツといわれますが、わたし流の言葉に置き換えれば、与えられた時間いかに命をかけられるかということです。自分の精魂を込めて、その凝縮された時

十九歳で日本代表に選ばれたとき、わたしは、一つの大きなハードルを越えたという喜びに、力がみなぎるのを感じました。ところがその年の秋、右足のひざを傷めプレーすることができなくなりました。これからというときのけがは、正直言って大きなショックでした。

次年の一月十五日、日本選手権。わたしは、国立競技場のスタンドにいました。自分が出場できない試合を見るのは悔しくて、とても平静ではいられません。しかし、試合が始まると、そんなことは少しも考えずにグラウンドの仲間に視線を送っていました。

自分ながら大人になった、精神的に成長したと感じた——これがわたしの成人式でした。その後も社会人、全日本でプレーを続けるわけですが、ラグビーにはいろいろなることを教えられました。

「自分の好きなことを、他人に縛られず自由にやる。」講演などで若い人たちに、自主性って何だろうって問い掛けてみると、こんな答えが返ってくる場合があります。時代の流れのなかで、個人主義や自由が尊重されるのはいいことです。しか

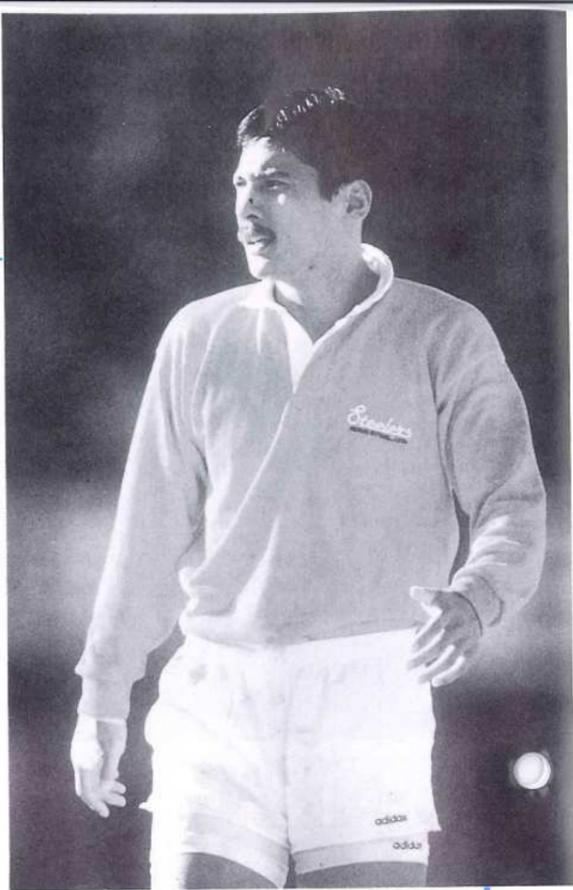
間に命をとことん集中するので、勝負ですから負けることもありません。でも、次の試合になればまた集中する。だから、落ち込んでいる暇なんて、これまでなかったといってもいいかもしれません。

ラグビーを通してもう一つ教えられたことは、自分の弱さから決して目をそらさないということ。どんな人にも弱さ、つまりコンプレックスがあります。これがない人は、わたしの目から見れば、人間としての成長を止められた人のように映ります。弱さというのは、強さが欠如していることではなくて、弱さこそ、実は強さの源だからです。自分の弱さを自覚して、それを克服しようとする行動力や姿勢こそが、本当の強さなので

平尾 誠二 (ひらお・せいじ) ●1963年京都市生まれ。中学でラグビーを始め、伏見工業高校3年のときに全国優勝。同志社大学進学後も天才プレーヤーとして注目を集め、19歳2か月の史上最年少で日本代表に選ばれる。83年から史上初の大学選手権3連覇。86年神戸製鋼に入社し、社会人選手権と日本選手権でV7を達成する。97年第一線から退き、日本代表監督に就任。98年11月のW杯アジア地区最終予選で日本は全勝を飾り、今年10月に英国(ウエールズ)で開かれる本大会への出場を決める。

(写真提供/神戸製鋼所)

し、その意味を履き違えてしまっている。自主性とは、実はもっと厳しいものです。自分の目的を達成するために、新たな手段を考えたり、もっといい方法はないかと真剣に模索してみたりすることだと思ふのです。つまり、自分にあえて「負荷」をかけてみることです。自分で自分をマネージメントする力を養うこと。これが、真の自主性です。(談)



1999年1月8

開設10周年を記念して大会を開催



少林寺流空手道「錬心館三股西支部」(支部長 飯田義一 部員25名)の開設10周年記念大会は、11月29日、三股西小体育館で、来賓や空手道関係者50名に、県内や鹿児島県の18支部の空手道教室の生徒約260名が参加して盛大に開かれました。開会行事は、同支部の部員による演武が披露されるなど厳粛な中に行われました。その後開かれた空手道大会では、幼年から一般まで12部門で、基本型や組手による試合が行われました。中でも、幼年の部では、一回り大きい柔道着を着用したかわいらしい子どもたちが、真剣なまなざしで、正拳突きや蹴りなど一挙手一投足に力強い動作を展開し、詰め掛けた観衆からは大きな拍手が起こっていました。

環境教育の充実に向けて

町が平成9年10月から一般廃棄物最終処分場(クリーンビルみまた)の周辺に建設を進めていた総合環境学習公園(エコフィールドみまた)がこのほど完成し、11月26日、現地で行われた完成記念式典が開かれました。持続可能な環境を維持していくための「環境」・「共生」・「参加」を学ぶ場所として、全国で初めて建設されたもので、敷地面積は、5万5,749㎡、総事業費2億4,400万円。施設内には、環境学習施設の青空教室や管理棟研修室、野鳥観察所があり、図書類をはじめ自然観察ビデオ、パソコンなどの教材、機材などがあります。また、環境保全活動演習林や町民ふれあい農地もあり体験学習もできるようになっています。その他、エコベンチ、リサイクルアート広場もあり、ゆっくりくつろげる施設も完備しています。ぜひ一度足を運んでください。



臨時特別列車で結婚披露宴

11月29日、JR三股駅前ロータリーで、町商工会青年部員で宮村に住む長嶺岳征さん(24)と都城市志和池の中島幸代さん(23)の結婚披露宴が行われ、たくさんの人々が祝福しました。これは、同青年部創立30周年記念事業の一つとして同青年部実行委員会が企画したもので、教会風に見立てた会場には、親族や友人、関係者が集まり、二人を見守りました。二人は、牧師の前で「幸せな家庭を築きます」と誓い、指輪交換の後、ライスシャワーの中を駅舎まで歩き、出席者などから大きな拍手が送られました。式の後、同駅から披露宴臨時特別列車「夢列車ウェディング号」が発発。宮崎空港駅までの1時間、車内ではウェディングケーキ入刀やキャンドルサービス、テーブルスピーチなどが行われ、たいへんなにぎわいを見せました。



戦争の悲惨さを訴える

町は、町制施行50周年を記念して、このほど戦争体験談を中心に納めた冊子「三股のあしあと 戦後50年を経て」を200冊刊行しました。A4判、93ページからなり、戦争の悲惨さを語り継ぎ残していこうと町内在住者22名が執筆した体験談のほか、戦争関連史跡の写真や郷土誌「ふるさとみまた」などに掲載された文章なども収録しています。大坪義成さんは、長崎で体験した被爆について書き記しており、まるで地獄絵巻のようだったと当時を振り返っています。なお、冊子は、町内の学校、地区公民館、中央公民館図書室、児童館などに無料配布し、自由に貸出しできるようになっています。



保育園訪問⑨

ゆるやかに、すこやかに、感性ゆたかに

みどり保育園

「園長先生、ここ開けて何してるの」、園児が窓に取りすがり、首を伸ばして、たまには出て来いと催促しているらしい。園庭に出ると女の子はふつと「園長先生」と呼ぶが、男の子はいろいろと呼び方を工夫してくれ、思わず吹き出してしまったことがしばしばだ。

12月に入るとさすがに風は冷たい。「園長先生、今日は園庭でやきいもをしまーす」という先生の声。



「ああ、いいね」と言いながら、待てよケヤキの葉っぱならともかく、イチヨウの葉では焚火にならんぞ、とパーナを片手に本馬場へ。案の定、新聞紙は燃えているが黄葉は茶色に変じ、たたくすぶるだけ……。しかし、やきいもの味は良かった。保育指針には、健康、人間関係、環境、言葉、表現と五領域が意図されているが、よく観るとどれも環境が関わってくる。健康な環境とか表現できる環境とかである。そこで園長はいつもハード面の整備に心をいたし、先生達は主に保育材料の要望となる。これらにはできるだけだけ応えることにしている。

保育は子供の目線というが、大人の大きさ偉大さも見せたい。そこに、親や先生を敬う柔軟な能力の子が育つことを願うからである。

園長 平川 英 輔

今回は、今市の「くるみ保育園」です。お楽しみに!!

文芸三股

(第1号)

俳句(三股椿寿俳句会)

竹林の葉ずれの音も淑気かな

中村 八郎(植木)

独り膳太箸しかと置きにけり

内村 初美(植木)

去年今年豆ことごと煮ておりぬ

川原 順子(東京)

短歌(三股町短歌会)

万両は初日を受けて鮮らしくいろくれなるにひかり輝く

長尾 イク子

「吉」のみくじ小枝に結ぶ初詣

ひとりとなりて十年の春を

中原 洋子

今月号から俳句・短歌・薩摩狂句を掲載いたします。第一回目のお題は「正月」です。

きらきらと雨の滴が水仙に消えては光る花明かりの中

立山 三保

薩摩狂句(渋柿会都城支部)

一時も諭吉が正月ちや財布ぜおらし

唱 漱石きなれば飛つ行たつ

輸入品が多し御節料理だバタ臭し

唱 数の子も蝦も肉も

大家族ねなつ正月三日は縁側に寝つ

唱 風邪がひつちつ

都城男



★わが家の一番星★



新村 裕 貴くん(1才)

平成9年10月7日生まれ

新村直子さんの長男(子供へのコメント)最近、「トーフ」「チーズ」「ボール」などの言葉をしゃべるようになりました。外で遊ぶのも、とても好きでカゼもひかず元気です。これからも健康な子に育ててね。



遠矢 健 太くん(9ヶ月)

平成10年4月11日生まれ

遠矢 定・月子さんの次男(子供へのコメント)お兄ちゃんお姉ちゃんと仲良しの健太くんです。元気に育ってね。

お便りやイラスト、お子様の写真を募集「みんなの広場」では、皆さまからのお便りを募集いたしております。●町の声コーナー ふだんの生活で感じたことや皆さんへのお願い事などを四百字以内にお書きの上、お送りください。

●イラストコーナー アニメのヒロインなどをはがきにお書きの上、お送りください。●わが家の一番星コーナー 2歳未満のお子様の写真とコメントを添えて直接役場にお申し込みください。●問い合わせ 役場総務課秘書広報係 52-111111 (内)222

歳時記

一月の一日から三日までが三が日。この期間は正月気分でのんびり過ごす方も多いことでしょう。

三が日

こうした習慣は、時代により、場所によって少しずつ違ってはいるようですが、この三日間は、家族が晴れ着を着て集まり、おとそで新年を祝い、雑煮やおせち料理を食べるというのが、一般的のようです。そして、年始のあいさつに行ったり、反対に人が来たりします。おせち料理はごちそうであり、三が日の間、料理などをしなくて済むための保存食でもあるようです。また、三が日は、朝は毎日雑煮、昼・晩もご飯を炊かずにおしる粉やきなこ餅を食べることも、珍しくありません。しかし、昔は餅を食べるのが楽しみだったのが、最近では正月といっても特に餅を食べることをしないで、いつもどおりのパン食という家庭も多い

のではないのでしょうか。都会の交通事情に関しては三が日は自動車の交通量がふだんよりだいぶ少ないので、排出ガスも減って空気が澄んだ感じになります。ところで、三が日は官公庁も仕事は休みですが、二十四時間休みなしに活動しているのが警察の一一〇番。一一〇番通報制度は昭和二十三年に発足し、事件事故などの早期解決に大きく寄与しています。毎年一月十日は「一一〇番の日」。これを機に一一〇番通報制度についての理解を深め、有効に利用できるようにしたいものです。



子どもたちの考えは

いま

(その2)

昨年開催されました子どもの声を聞く会の作文を紹介し
ます。第2回目は、3名の小学生の作文です。

友 達



勝岡小学校 6年
山元 恵理さん

私と友達Kちゃんは、口ではなかなか言えないことがあるので、手紙交かんをしていた。ある時、私は、「私とKちゃんって、友達として合わないの」と手紙に書いた。すると、返事には、同じことが書かれてあった。

私とKちゃんは、Eちゃん、Kちゃんと呼び合い、ピアノの教室に行く時にも、買い物に行く時にも、どこへ行くにもほとんどいっしょだった。また、手紙交かんの他に、交かん日記もしていた。Kちゃんは、私の一番の友達だった。だから、今回のできごとのショックは大きかった。

次の日、私とKちゃんが、いっしょにしゃべることはなかった。他の子としゃべることはあつても、いっしょには全くしゃべるこ

とはなかった。Kちゃんが、十人くらいの人としゃべってるとき、私は、五人くらいの人としかしゃべれなかった。私は、Kちゃん

は、私がいなくてもいいんだ、友達がたくさんいるからいいんだ。でも、私にとつても、Kちゃんは、とつてもとつても大切な友達なんだと思った。そして、「ゴメンネ」と手紙を書いた。すると、返事には、同じことが書かれてあった。その時、私はすっごくうれしかった。今までの学校生活の中で、一番うれしいことだった。

私はこの時、友達と、かけがえない、とつてもとつても大切な存在だと思った。それから、何日かたつたある日、Kちゃんが、他のグループの子としゃべって、私とはあまりしゃべらなくなってしまっていた。しかも、それが何日も続いた。私も、その中に入ろうとしたけど、その人たちは、あんまりしゃべったことがなく、何をしゃべればいいのか分からなくなつて、頭のコントロールが、きかなくなつてしまつた。

次の日は、友達がしている行動



三股西小学校 6年
竹元 裕仁さん

仲 間

の町、三股町」を守り続けるのは大変ですが、みんなの川です。町民みんなで協力して、ホタルがたくさん飛び交う美しい川をとり戻したいと思います。

ぼくは、今年の夏、十三日間のキャンプに行きました。場所は、熊本県清和村にある、元は学校だったところです。ここで、ぼくは、七月二十一日から八月三日まで生活しました。参加者は、小学三年生から中学三年生までの希望者で、九州各地からいろいろな人が来ていました。ぼくたちのめんどろを見てくれるカウンセラーの大学生たちもいました。

そのキャンプでのことです。「今日の朝ご飯は、女子が作る番だぞ。さっさと作れよ。」と、昨日の夜、男子はかたづけをしなかったじゃない。男子の番だよ、グループの中で言い合いになりました。両方ともゆずりません。確かに、昨日の夜は、男子が作りましたが、かたづけはしませんでした。男子は、そのことには

をまねしてみた。でも、何回まねしても、コツがつかめなくて、つかれてしまつた。そして、とうとうその人たちとはしゃべれなくなつてしまつた。

ある日、私は、今年の夏休み、三股町の六年生と、沖永良部島でつた写真を見ていた。私は、あんなつかしいな、よく夜に、ふとんの中でかい中電灯をつけて、ひみつのお話したよな。はつそうだ、私は、今まで無理をしていたんだ。沖永良部島で過ごしたように、人に無理に合わせないで、自分の個性を生かすんだと思った。

この時私は、人はそれぞれ個性というものを持っている。だから、人の心や体はちがう。無理に合わせることはできない。自分を見うしなつてはいけないということが分かつた。

私は、今度から、私がいつも他の友達にしているような態度で、明るく、元気にふるまおうと思つた。また、Kちゃんが、他の人達と遊んでも、なるべく気にしないようにしよう。Kちゃんの友達には、私だけではないのだから。私も、友達をつくらなければならぬのだから。と思つた。

無理をしなくなった。おかげで、心がすっきりした。Kちゃんとも、相変わらずうまくいっている。私も、一人、また一人と友達が増えつつある。最近、学校生活が、楽しくなつたなと思うようになった。

守りたい 「郷土の川」を



三股小学校 6年
渡辺 静佳さん

私は、私の住む三股の川をもっともつときれいにして、昔たくさん見られたという、ホタルの飛び交う姿を、ぜひ見てみたいと思つます。

夏休みに、私は宮崎市で行われた「大淀川学習宮崎子どもサミット」に参加しました。

そこでは、まず、大淀川がどれだけよごれているのか学びました。そして、家庭から出るはい水や工場のはい水によって川の水がよごされたり、川には、お菓子のくずやアキカンなどもたくさん捨てられたりしているという話を聞きました。会場の子どもたちが自由に討論する場では、私も、手を挙げて、「二十世紀の子どもた

ちにきれいな川を残したいです」という意見を発表しました。ここで私は残された川を守らなければいけないな、大淀川をきれいにする方法はないかなと考えていました。このあと、実際に大淀川に行き、コイの「ち魚」を放流しました。十センチほどの小さな元気がいっぱい「ち魚」でした。このコイのち魚たちがよごれた水を飲むと、体の中に悪いえいきょうが出たりしないのかなと、私は不安な気持ちになりました。そして、みんな無事に大きく育ってほしいと願わずにはいられませんでした。

九月のある日曜日、家族で「大淀川学習館」へ行ってきました。そこには、大淀川流いきに生息している鳥・魚・昆虫などが、たくさん展示してありました。魚は上流、中流、下流と生息場所別に水そうに入れてありました。上流の魚しか知らない私は、下流に住んでいる「アカメ」という一メートルあまりの大きな魚を見てびっくりしてしまいました。この魚も、大淀川がよごれたために、最近ではめつたに見られなくなったそうです。他にも、「ゴモ」というめづらしい魚や「ナマズ」、「スッポン」など、多くの種類の川の生きものがどんどん減ってきているという話を初めて知りました。このままでは、この魚たちはもういなくなってしまうのではないのだ

昨年11月3日、平成10年度の人権に関する標語の表彰式が行われました。その最優秀作品を紹介します。

(小学生の部)

ひとのいやがること しないよ させないよ
(三股小学校 1年 佐久間 悠さん)

いじめてる あなたの心 どんな色
(宮村小学校 2年 下村 真未さん)

思いやり 心の中が ぼっかぼか
(宮村小学校 3年 黒田 大将さん)

いじめはね 心に深く しみるきず
(梶山小学校 4年 山下 碧さん)

いじめなんて この世にいらぬ 言葉だよ
(勝岡小学校 5年 有水 香菜さん)

思いやり 心と心の ハーモニー
(三股西小学校 6年 上西 由真さん)

に触れないで、晩ご飯を作つたから女子の番だと、言いはります。女子は、かたづけをしていないのだから、ばつとして朝ご飯も男子が作るべきだと主張します。言い合えばいい合うほど、だんだんけん悪なふん囲気になっていきました。みんな口をとんがらせて、ゆずろうとしません。それを見ていたカウンセラーの大学生が、「いっしょに作ればいだけじゃない？」と、仲に入ってくれました。みんなあつけにとられたような顔をしています。(そうか。こんなふうにいみ合つたつて、朝ご飯が食べられないぞ)男子も女子も、大学生の一言に納得し、みんなが一つにまとまることができました。

ぼくは思いました。協同生活というのには、一人一人が、他の人のことを考え、思いやって生活しなければならぬということ。自分勝手をする、自分も困るし、他のメンバーにも迷わくをかかります。今度のことも、ちよつとした言い合いから始まりました。だんだんエスカレートしてくると、相手を傷つけるような言葉も出ました。言われた人は、とてもいなかや気持ちになつたと思つます。みんなが、おたがいに広い心でいられたらいいなと思つます。

それから数日後、フェスティバルがあるので、準備を始めました。看板作りでは、みんな、自由

日本2周の旅紀行

(その6)

明けておめでとーございませう。

四国路の朝明けは、海から昇る太陽に始まる。11月14日土佐の桂浜へ行った。ちょうどその時、高知が生んだ坂本龍馬まつりが始まっていた。今年のメインは「龍馬の視線で太平洋を眺めよう」である。銅像の隣に高さ14mのパイプ橋を組み、1回7名ずつ登って太平洋を眺めるわけだ。偶然NHKテレビが取材に見えていて夕方の地方ニュースで放映された。



坂本龍馬の視線で太平洋を眺めたまつり

出来たのに「九州へは1本の橋の準備もない」。臼杵発5時45分ではあったが、車が120台乗客450人乗りの大型フェリーに乗船したのは、私の車1台と2人、トラック1台と1人だけであったのは驚いた。橋を掛けても採算が取れないのではと考えた。四国は八十八ヶ所お遍路



四国はお遍路さんが多い

さんの島である。日本一周の時、徳島県一番札所霊山寺より始めて、高知県・愛媛県を回り番号順に香川県八十八番目大窪寺までを一ヶ月間かけて済ませた。午前中が移動とお寺参り、午後には施設訪問である。今は、八十八ヶ所参りも違って来たようだ。観光化したのか普段で参拝している若者も多く見かける、しかし道路を歩いて回っているお遍路さんも多く見掛けた。四国の施設では、ケアハウス

に泊る機会が多く、宿泊には楽しみもあった。ケアハウスとは、身体機能の低下や高齢等のために居宅での生活が不安な60以上の方が入居し、完全個室でプライバシーを守りながら生活できる高齢者住宅である。一人部屋が多く六畳間にリビング・バストイレ付き、全冷暖房付きである。外出も自由で食事付きとはすばらしい。

高知市より大歩危・小歩危に行く通中に大豊町がある。ここに日本一の大杉があった。二株が根元で合着しそれぞれ南大杉、北大杉と呼ばれ、特別天然記念物に指定されている。根元の回り20mと16・5m樹高約60m推定樹齢3千年と書いてあった。しかしここで有名なのは、かの美空ひばりが9才巡業の時、バス転落で一命を取り止め、この大杉に「私を日本一の歌手にしてください」と願掛けを



天然記念物の日本一の大杉

したと書いてあった。公園内には美空ひばり遺影碑と歌碑があり、遺影碑の前に立つと「リンゴ追分」や「川の流れるように」が自動演奏される。京都嵐山に美空ひばり館があり見学しが見る物も多かった。大歩危の近くに、四国では有名なカズラ橋が今でも残っている。カズラ橋を渡るだけで420円かかるが観光客も多い。紅葉がキレイで橋とのコントラストが非常によかった。天水 藤平 美伊子

漢字クイズ

次の漢字はなんと読むでしょう。すべて魚の名前です。

- ① 鯨 ② 鱈 ③ 鯖
④ 鰯 ⑤ 鰹

答えを官製はがきにご記入のうえ、下記までお送りください。なお、住所、氏名、電話番号もお忘れなくお書き添えください。

図書室にお越しの方は、応募用紙が備えてありますので利用できます。

当選者の中から抽選で5名の方に図書券を進呈いたします。

(宛先) 〒889-1902

三股町五本松8-1

三股町中央公民館図書室まで

※締め切りは、1月30日到着分までとさせていただきます。

11月号のこたえ

- ① 杏(あんず) ② 苺(いちご) ③ 葡萄(ぶどう)
④ 西瓜(すいか) ⑤ 石榴(ざくろ)

☆12月1日到着分まで締め切りさせていただきました。

図書券の当選者は次の方々です。

藤村俊一様、藤村委高様、原口智恵子様

増山澄夫様、山下真知子様

54通のご応募をいただきました。ありがとうございました。

☆図書館の休館日

- 1月(15日以降): 17日、19日、25日、26日
2月: 1~3日、8日、9日、11日、15日、16日、21日、23日

『私と図書館』

No16



筒井政治さん

今回は、寺柱にお住まいで第3地区公民館長を務めておられる筒井政治さん(70)にお話を伺いました。

Q 地区公民館長とはどのようなお仕事をされるのでしょうか。

A 生涯学習活動の推進ですね。その拠点となる公民館では書道・そろばん・卓球・ミニバレ・剣道・歌謡などが行われます。私は、そのための行政との連絡や施設の管理、内外のことなど様々なことを行っています。特に中央公民館との連携は密にするように心掛けています。

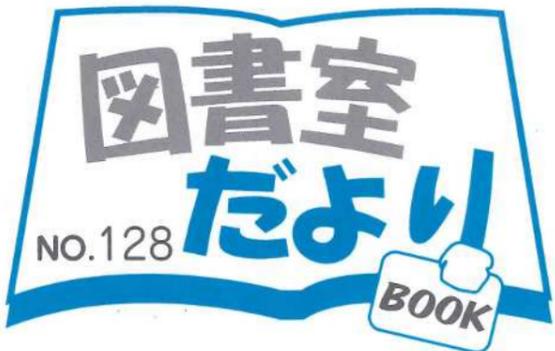
Q 読書が大変お好きだと伺いましたが、どのような本がお好きでしょうか。

A 365日読書を欠かしたことがないくらいで、日本文学や外国文学もたくさん読みました。特に、志賀直哉や、夏目漱石、島崎藤村が好きですね。今は司馬遷の史記を何度も読み直しています。本を読むときは、関連のある本を何冊も同時に読むと、本の

Q 図書館、図書室を利用されたことはありますか。

A 本は買って読むことが多いので利用したことはないですね。図書館に望まれることはどんなことでしょうか。

A 個人的には、身近に本に触れられる環境をつくるためにも、地区の公民館に図書室をつくることの方がいいかと思っています。図書館に足を運ぶことができず、人は、やはり地理的に恵まれた特殊な人ではないかと思っています。本ほど教養のつくものはないので、読書は生涯学習という観点からも素晴らしい習慣だと思っています。そのためにも気軽に借りられることが重要ではないでしょうか。



おすすめの1冊

~ぜひ1度読んでみては~

【一般向】

クロスファイア
宮部みゆき

深夜の廃工場。ある男達の殺人現場を目撃したOL・青木淳子は、掌から炎を放ち二人を焼き殺した。彼女は念力放火能力を持つ超能力者だったのだ。相次ぐ火災焼殺事件の謎をめぐる宮部みゆき最新作。



【一般向】

ミルクブルー
吉川さなえ

何もかもが初めてだらけの育児。ちょっとした出来事に一喜一憂、母親失格と誤し、落ち込むことも..... 外科医の忙しいパパとちょっと頼りないママが織りなす、ほのぼの&ジワッと感動の6編を収録。



【児童向】

ピカチュウいつもいっしょ

アニメのピカチュウから超かわいい写真を厳選。ラブリーなピカチュウグッズ、ピカチュウアルバム、ピカチュウの活躍をまとめたピカチュウメモリアルなど一冊まるごとピカチュウ。



おしらせ



■保育所入所■

平成11年度保育所入所の受け付けが始まります

入所時に申込書を提出すれば、小学校就学始期(卒園)に達するまで、保育の実施が継続されます。

つまり、2年目からは、申込書を提出する必要がなくなります。

ただし、保育の実施の要否・保育料の判定のため、就労証明、源泉徴収票、課税資料などは毎年提出していただきます。

◎申込書申請期間

1月12日(火)～2月2日(火)

◎申し込み先

各保育園、役場福祉保健課

三股町内の保育園

(厚生省認可保育園)

- 三股中央保育園 ☎52-1228
- ひかり保育園 ☎52-1376
- こぼと保育園 ☎52-1097
- すみれ保育園 ☎52-1363
- わかば保育園 ☎52-1370
- ひまわり保育園 ☎52-1377
- くるみ保育園 ☎52-2716
- りんどう保育園 ☎52-3949
- みどり保育園 ☎52-5002
- 蓼池保育園 ☎52-5060
- 稗田保育園 ☎52-5889
- 長田へき地保育所 ☎54-1029

◎問い合わせ

役場福祉保健課

☎52-1111 内線136

■ハローダイヤルみまた

地域交流ダイヤル「ハローダイヤルみまた」の更新情報は、次のとおりです。

〈FAX情報〉

【コード番号】[項目]

◎町の紹介

- 1201 町長からのメッセージ
(新年のあいさつ)

◎選挙

- 1231 選挙権
- 1232 寄付の禁止

- 1233 選挙期日のお知らせ
 - 1234 不在者投票
 - 1235 郵便による不在者投票
- ハローダイヤルみまたのご利用は
FAX・電話共通(代)27-7100にダイヤルしてください。後は、音声にしたがって操作してください。

■税

1月は個人住民税の納期です。

個人住民税は、行政に必要な経費を広く住民の方々に負担してもらうという意味で設けられたものです。個人県民税と個人市町村民税とから成り立っており、これらは市町村がまとめて賦課徴収することになっています。

給与所得者で、特別徴収されている方を除いては、原則として4期に分けて各市町村から送られてくる納税通知書で納税していただくこととなります。

1月は、第4期分の納期ですので、納期限にご注意いただき、納期内納付をお願いします。

◎問い合わせ

役場税務課住民税係

☎52-1111 内線144

■最低賃金

宮崎県最低賃金及び産業別最低賃金が次のように改正されました。

単位：円

業種	最低賃金	時間額
宮崎県最低賃金	4,712	589
産 業		
肉製品製造業	4,947	619
電気機械器具製造業	5,128	641
別		
各種商品小売業	5,018	628
自動車(新車)小売業	5,245	656

○最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなどを含めた全ての労働者に適用されます。

○最低賃金の対象者となる賃金には、

- ①賞与などの臨時の賃金、
- ②時間外労働などの割増賃金、
- ③精皆勤手当、通勤手当および家族手当は含まれません。

【問い合わせ】

都城労働基準監督署

☎23-0192

最低賃金テレホンサービス

☎0985-23-4811

■学生募集

放送大学教養学部4月入学生を募集します。

■出願受付 2月15日(月)まで

■資料請求・問い合わせ先

〒883-8510 日向市本町11-11

放送大学宮崎学習センター

☎0982-53-1893

■緊急住宅対策

住宅金融公庫からのお知らせ

住宅ローン返済でお困りの方は、ご相談ください。ご相談結果を踏まえ、返済条件を見直し、返済負担を大きく軽減します。

■返済期間延長(最大10年)

■措置期間(最大3年)設定

■措置期間中の金利引下げ

※詳しくは、ご返済中の金融機関または、住宅金融公庫南九州支店

【専用TEL096-387-3709】まで。

平成12年3月末日まで受付けます。

■相談

巡回婦人相談について

■日時 1月28日(木)

午前10時から午後3時

■場所 都城総合庁舎第7会議室

■相談内容

- ・家庭内の不和でいざこざがある
- ・男女関係で悩んでいる
- ・暴力や脅迫から逃れたい
- ・生活上のさまざまな問題で悩んでいる

■派遣職員

婦人相談員 山村アツ子

■問い合わせ

県中央福祉相談センター

婦人保護係 ☎0985-22-3858

■その他

地域振興券の交付について

緊急経済対策の一環として、個人消費を喚起し、商店街等地域経済の活性化を図ることを目的とする地域振興券交付事業が実施されます。

●交付対象者は、

- ①15歳以下の児童がいる世帯主
- ②高齢福祉年金等の受給者
- ③65歳以上の住民税(所得割)非課税の寝たきりの方
- ④65歳以上の住民税非課税の方等で三股町では、約7,700人が対象となります。

●交付額等は、

- ①1人(15歳以下の児童がいる世帯主については、児童1人)につき2万円の地域振興券が町から配布されます。
- ②地域振興券の使用期限は、6ヵ月で、譲渡や換金はできません。
- ③交付開始時期は、3月以降を予定しています。

※詳しい内容については、2月の広報紙等でお知らせします。

●問い合わせ

役場企画調整課

☎52-1111 内線241

■催し

第20回健康走ろう会

◎日時 1月31日(日)

受付 午前8時30分
開会式 午前9時

◎場所 三股町中央公民館前

◎種目

- ・小学1～2年男女 1.0km
- ・小学3～4年男女 1.5km
- ・小学5～6年男女 2.0km
- ・中高生・一般女子 2.0km
- ・中高生・一般男子 2.0km
- ・中高生・一般男子 5.0km
- ・ファミリージョギング(小学生以下の子供とその家族) 2.0km

◎参加料 1人につき100円

◎申し込み 1月20日(水)までに教育委員会生涯学習課へ

☎52-1111 内線353

生涯学習「元気まつり」

三遊亭圓窓師匠が記念講演!

日時: 2月7日(日)

午前10時30分

場所: 勤労者体育センター

演題: 学習を楽習に変えよう



※その他にも午前9時から勤労者体育センターと中央公民館で生涯学習発表や公開講座が催されます。お気軽にお越しください。

◎問い合わせ

教育委員会生涯学習課

☎52-1111 内線361

きりしまんぢだ

(1市6町の行事紹介)

●都城市

○プロ野球オープン戦

「広島 VS ヤクルト」

■日時 2月27日(土)午後1時～

■場所 都城運動公園野球場

■問い合わせ 市商業観光課

☎23-2983

○生涯学習フェスティバル

■日時 2月14日(日)午前10時～

■場所 都城コミュニティセンター

■問い合わせ 市生涯学習課

☎23-9545

○アートストリート'99 ときわへ〜ん

■期間 2月13日(土)～28日(日)

■場所 都城駅前ときわ通り周辺

■問い合わせ 市美術館

☎25-1447

●山之口町

○生きがいふれあいフェスタ山之口

■期日 2月7日(日)

■場所 ふれあいの里

■内容 発表会、講演等

■問い合わせ 役場社会教育課

☎57-3111

●高崎町

○男女交流会

Piece Of My Wish

～私の願いのかけら～

■日時 3月13日(土)午後5時～

■場所 ラスパたかざき温泉交流センター

■参加者 男性50人 女性50人

■参加費 男性 3,000円

女性 2,000円

■内容 お見合いタイム、ゲーム、ライブ、抽選会など

■問い合わせ、参加申し込み

実行委員会事務局(高崎町役場内)

☎62-1111

担当: 黒原・上杉

■ユニセフ募金

第8回三股町ふるさとまつり会場において、三股中学校国際ボランティアクラブによる募金活動で、たくさんの方々が集まりました。ご協力いただきありがとうございました。

募金額 106,093円

■愛のご寄付

町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございました。

平成10年11月1日から

平成10年11月30日まで

寄付者	続柄	故人名	年齢	地区	金額
森	ミヤ(夫)	利盛	86	蓼池	3万円
木原	貞男(母)	アイ	88	清流園	3万円
細山田	ヒサ子(夫)	三千男	80	梶山	10万円
福田	フキ(夫)	秀光	89	上米	3万円
児玉	常道(妻)	ヨシ子	65	勝岡	3万円
塩月	重秋(妻)	スギノ	77	大八重	2万円
内村	保子(夫)	尚道	62	小鷲	2万円
下石	好秋(妻)	文子	59	高畑	3万円
原田	秀子(夫)	浩文	38	上米	5万円
小牧	ウキ子(夫)	良夫	78	轟木	5万円
福重	アヤ子(夫)	利夫	80	今市	2万円

